

さいたま市が世界の舞台に



TOKYO 2020



開催会場

バスケットボール日本代表を 応援しよう

来年7月に行われるオリンピックでは、さいたまスーパーアリーナに男女各12か国の代表が集結し、全52試合の熱戦が繰り広げられます！

男女日本代表で活躍する2人の選手から市民の皆さんへメッセージが届きました！

男子日本代表キャプテン*

篠山 竜青選手

バスケットボールは、観客席とコートとの距離が近く、ダンクシュートや背の高い選手のぶつかり合いなど迫力あるプレーが間近で見られることが魅力の1つです。子どもたちには世界のトッププレイヤーを見て、そのプレーをまねて自分の力にしてほしいです。「日本一丸」となって戦う日本代表を応援してください。

※取材日(令和元年8月23日)現在



女子日本代表キャプテン*

高田 真希選手

さいたまスーパーアリーナで行われるオリンピックという舞台でプレーすることを想像すると、ワクワクしています。私はバスケットボールからたくさんのことを学びました。子どもたちにもバスケットボールを通じて、多くのことを吸収してほしいです。まだやったことのない人にも、このオリンピックが始めるきっかけになれば嬉しいです。

※取材日(令和元年8月23日)現在



全日本バスケットボール選手権大会 天皇杯・皇后杯が開催されます！

1次・2次ラウンドを勝ち上がった男女それぞれ8チームが、優勝をかけてファイナルラウンドを戦います。

期日 令和2年1月9日(木)～12日(日)

会場 さいたまスーパーアリーナ
(さいたま新都心駅西口)

チケットの購入方法などは
大会公式ホームページを
ご覧ください。



詳しくは、オリンピック・パラリンピック部(TEL 829・1023、FAX 829・1996)へ。

さいたま市の
お役立ち情報が
満載

情報公開コーナーに お立ち寄りください

各区役所にある情報公開コーナーでは、さいたま市が発行するさまざまな資料を配置しています。

設置場所 各区役所内

利用時間 月～金曜日
(祝・休日、年末年始を除く)
8時30分～17時15分



行政資料の 閲覧

統計書や市史、計画などの資料を閲覧することができます。また、一部、販売や貸し出しも行っています。

開示請求の 受付

行政情報や個人情報の開示請求などを受け付けています。

詳しくは、行政透明推進課(☎829・1117、FAX829・1983)へ。



絆をつなぐ

プラスチックごみと食品ロス削減の取り組みを強化します

近年、プラスチックごみによる地球規模の海洋汚染が、生態系などに甚大な影響を与えることが懸念されています。また、全世界共通かつ喫緊の課題として、今年6月に大阪で開催されたG20サミットでも主要なテーマとして取り上げられました。

この問題を解決していくためには、市民・事業者・行政などが、それぞれできる取り組みを実施することが重要です。本市では、民間企業と連携して給水スポットを市施設に設置し、職員自らマイボトルを持ち、ペットボトル削減の取り組みを強化する「さいたまモ

デル」を全国に発信していきます。

食品ロス削減の取り組みについても、「日曜日は食べつくスープ」の推進やフードドライブの拠点を増やすなど、「さいたま市食品ロス削減プロジェクト」の取り組みを強化しています。

本市は、地球環境を守るために市民の皆さんと行動していきます。



さいたま市長 清水 勇人

さいたま市立病院が 生まれ変わります

新病院オープン
12月29日(日) 予定

外来診療開始
令和2年
1月6日(月) 予定

所在: 緑区三室2460

患者さんのため、地域の方々のため、市民の皆さんのため、
新たな設備で、安心して安全な医療を提供します。

新病院の主な取り組み

● 救急医療の充実

重症救急患者の受け入れ体制の拡充を図ります。

● 急性期医療機能の向上

手術室・血管造影室の拡充やハイブリッド手術室の設置により、高度な医療を提供します。また、精神科身体合併症に対応する病棟を新設します。

● 地域がん診療連携拠点病院の機能強化

手術室・化学療法室の拡充や新たな放射線治療機器の導入により、がん診療機能を強化します。また、苦痛緩和のための緩和ケア病棟を新設します。

● 周産期・小児医療の強化

陣痛室・胎児モニタリング室を拡充します。周産期病棟と小児病棟を1フロアに集約し、充実した成育母子医療センターとして強化します。

● 感染症への対応

感染・結核・小児病棟にそれぞれ直結の専用エレベーターを設置し、感染症への対応を強化します。

● 患者支援センターの設置

事前に入院生活に関する不安に対応し、治療後安心して地域生活に復帰できるよう支援します。



内覧会を開催します

事前申込み不要

開院に先立ち、市内在住の方を対象に内覧会を開催します。



日時 12月15日(日) 9時～16時(15時まで受け付け)

受付 新病院1階エントランスホール

※公共交通機関をご利用ください。

詳しくは、病院施設整備室(TEL873・4170、FAX873・5451)へ。



虐待では?と思ったら 迷わず電話を!

オレンジリボン



「子ども虐待のない
社会の実現」の
シンボル

- 不自然なあざや傷がある
- 身なりがいつも汚れている
- いつもお腹を空かせていて、
発育が極端に悪い
- 表情が乏しい
- 家に帰りがたらない
- 言葉が著しく乱暴である
- 大人の怒鳴り声や子どもをたたく音、
子どもの不自然な泣き声がしばしば聞こえる



連絡窓口

- 24時間虐待通告電話 ☎711・6824
- 児童相談所 ☎711・2416 FAX711・8904
- 各区支援課(各区の代表電話番号は10ページに記載)
- 児童相談所全国共通ダイヤル ☎189 いちはやく

※相談した方の秘密は必ず守られます。また、虐待の相談・連絡に関する誤報に罰則はありません。

子育てに悩んだとき、相談できる場所があります

子育て不安電話相談

☎881・0922

土・日曜日、祝・休日、
年末年始を除く、
10時～16時

なんでも子ども相談窓口

☎762・7757

月・火・木・金曜日
10時30分～18時30分
土・日曜日、祝日9時～16時30分
(年末年始を除く)

※各区の家庭児童相談室や保健センター、児童相談所でも相談できます。
※家庭児童相談室、保健センターは、各区の代表電話番号(10ページに記載)に連絡してください。

子ども虐待防止フォーラム

- 日 時 11月8日(金)
14時30分～16時30分(14時開場)
- 会 場 市民会館うらわ(浦和区仲町)
- テーマ 「気になる子ども」、「気になる妊婦・養育者」
への対応方法や関係機関との連携
- 対 象 市内在住の方
- 定 員 50人(当日先着順)

詳しくは、子ども家庭総合センター総務課(☎711・1798、FAX711・8904)へ。

～絆をつなぎ、みんなで作る安心安全なまち～

さいたま市は **セーフコミュニティ** の 国際認証都市となります!

WHO(世界保健機関)が推奨するセーフコミュニティは、事故やケガのデータを分析し、市民団体や企業、警察、市などが連携して、改善のための取り組みを行い、市民が安全に安心して暮らせるまちづくりを進めることです。本市は、高齢者、子ども、自転車、DV防止、自殺予防の5つの分野の活動により、国際認証を受けることとなりました。

国際認証式典の観覧者を募集します!

- 日 時 11月20日(木) 15時～16時45分(14時開場)
- 場 所 浦和コルソ7階ホール(浦和駅西口)
- 内 容 合意書署名、活動報告、消防音楽隊の演奏など ※記念品の配布も行います。

- 定 員 250人(先着順)
- 申込み 11月6日(木)～12日(火)に、電話、ファクス又はEメールで、行事名、郵便番号・住所、氏名(ふりがな)、電話番号を、危機管理課へ。※結果は全員に連絡します。

詳しくは、危機管理課(☎829・1125、FAX829・1936、✉kiki-kanri@city.saitama.lg.jp)へ。